

～ みなくち子どもの森 園内 ～ (2・3月ごろ)

今月の生き物 (どうぶつ・しょくぶつ)



ウメの花

体験農場やタンポポの丘に植えられています。



シナマンサクの花

昆虫広場に植わった低木です。春、まず咲くことから、“マンサク”の名があります。



アセビの花

園内の尾根沿いの道に多くあります。釣り鐘のような花がたくさん咲きます。



ヒサカキの花

森の中に生えている低木。花は独特の何とも言えぬ臭いです。仏壇に供える“びしゃこ”のことです。



ハンノキの花

池や湿地の周辺によく生える高木です。だらんと垂れ下がったのは雄花で、風で花粉を飛ばします。



ツクシ (スギナの孢子茎)

体験農場の草地にたくさん生えています。ツクシは、スギナというシダの仲間の胞子をつけるための茎です。



オオハナアブ

冬を越すハエの仲間は、晩秋のヤツデや早春のヒサカキなどの花にとって、寒い時期に花粉を運んでくれる大切な虫です。



ルリタテハ(左)・モンシロチョウ(右)

暖かい日には、日溜まりに羽を広げて止まるルリタテハを見ることがあります。ルリタテハは成虫で冬を越しますが、さらに暖かくなると、畑や草地では、蛹で冬を越したモンシロチョウが飛び出します。



ニホンアカガエルの卵

体験農場や昆虫広場の水たまり。春先に水たまりのある田んぼが減り、このカエルも減りました。敵の少ない寒い時期に産卵して早く成長します。



ルリビタキ

森の中で見られる青い鳥です。夏は亜高山帯の涼しい山で子育てをし、冬に平地の森に降りてきます。



ウグイス

森を歩くと、“ホーホケキョ”のさえずりが聞こえます。笹の中などヤブが好きで、姿はなかなか見つかりません。



アオジ

森林沿いの草地で見かけることが多いようです。よく見ると黄色いお腹が美しい鳥です。春になると、山地や涼しい地域へ移動して、子育てをします。



ツグミ

駐車場付近やタンポポ丘など、芝生や広い草地に見られます。春になると、ロシアなど北国へ飛び立つ冬鳥(冬の間だけ見られる渡り鳥)です。